

「育て世代と支援者のための防災講演会」のアンケート結果

開催期日：令和元年 6 月 30 日 10 時～12：30

会場：シーパル大船渡

講師：長岡市助産師会会長 小林美代子氏 金子氏

主催：NPO 法人こそだてシップ

共催：大船渡市社会福祉協議会

参加者：40 名(大人 34 人 子ども 6 人)

アンケート：回収：25 人 (回収率 77%)

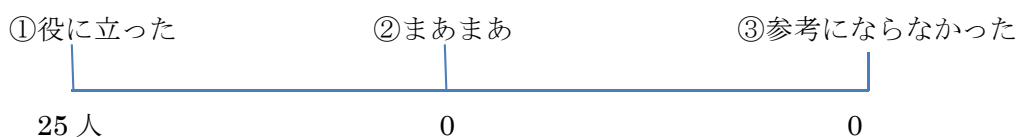
【アンケート方法】→質問項目の該当に○印 1 個と自由記載

【該当区分】→ ①役に立った ②まあまあ ③参考にならなかった

質問 1-参加された方の所属

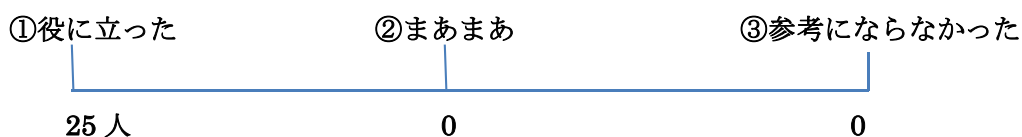
1) 子育て中の方 7 人 2) 子育て支援機関 16 人 3) その他 2 人

2 講演について



- ・長岡市は防災の先進市で参考になる話ばかりだった、活用できればと思う
- ・長岡市の防災についての取り組みが素晴らしく大船渡も頑張してほしい
- ・具体的なリストがあって参考になった
- ・何度聞いてもいいと思う
- ・早歩き散歩や日頃の持ち物について考えるきっかけになった
- ・自助の大切さ、母子の不安のない場所作り等、いい話が聞けた
- ・今までは家族を一番に考えていたが、まず自分を守れないと家族も守れないと気付かされた
- ・今後の子育て講演会にも取り入れたいことがあった、気付きも多かった
- ・生活目線で身近に感じた、とても役立つ
- ・常にしていないと非常時にはできない、頭におくようにする

3 体験発表について

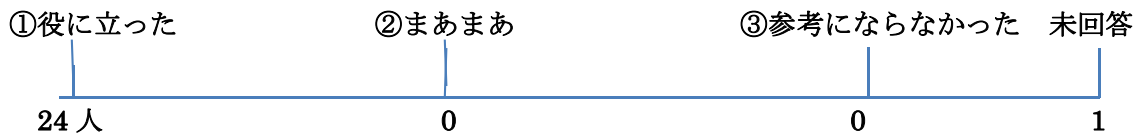


- ・リアルに思い出すきっかけになった
- ・実体験した生の声を聞きショックを受けた、このような話を多くの人が聞く機会がもつ

とあればと思った

- ・当時の話を聞き想像しただけで身震いがするような状況だった
- ・小さい子供を抱えていたら自分がしっかり動けるか不安になった
- ・実体験から得られた学び・教訓は、当事者でなかった自分にとって良い学びとなった
- ・子供の物資が避難所にあることを改めて知れた
- ・子供がいる身として日頃の備えとシュミレーションが大切だと感じた
- ・備蓄品などすぐに準備する！
- ・災害時の危機感が伝わってきた
- ・当時の状況が生々しくイメージでき真剣に考える機会になった
- ・経験者の生の声は心に響いた、より備えの大切さを感じた
- ・大切なものをどこに置くか、細かいこと一つ一つを再確認できた

4 グループワークについて



- ・それぞれの立場の皆さんの話を聞くことができ有意義だった
- ・人の意見を聞くことができ、気軽に話せた
- ・それぞれの被災体験など知らないこともあり勉強になった
- ・色々な体験の話を聞いて良かった
- ・多職種の皆さんから様々な意見・アドバイスを頂くことができ有意義な時間を過ごせた
- ・語り合うことで具体的な防止策が生まれるという気付きがあった
- ・後援で得た知識について皆とさらに話し合うことで具体的になった
- ・防災から時間が過ぎ、重要さを忘れがちな補充と買い置きを再確認

5 防災について今後取り組もうと思ったこと

- ・家族で話す時間を取りたいと思った
- ・日常から使えるものを備えようと思った
- ・自分自身のことを振り返りできることからやろうと思う
- ・速足散歩コースを作るということになるほどと思った
- ・家族の話し合いの場を持つこと
- ・毎日のバッグに入れられる持ち出し品を用意しようと思った
- ・ハザードマップの確認、アプリの利用に慣れたい
- ・防災グッズを再度確認し防災意識を忘れない、振り返りが必要
- ・防災グッズを準備すること（大人は何とでもなるが、特に小さい子供用）
- ・緊急時のことを家族会議することから始めたい

- ・仕事で会う住民の方への啓発（母子と関わるが多いため）
- ・家族会議、近所付き合い、身の回りの整理等、大切なことが沢山あると再確認した
- ・子供とできる防災について家族と話し合いたい
- ・支援員として子育て中の方に、今日学んだことを伝えていきたいと思った
- ・改めて家族と話し合わなければと感じた
- ・記憶を記録にとどめること
- ・避難場所までどのくらいかかるか散歩しておきたい
- ・早足散歩
- ・携帯できるグッズ
- ・家周辺のリスクチェック
- ・具体的な自助、防災についての情報提供に取り組んでいきたい
- ・ガソリンは半分になったら入れる
- ・まず帰ったら非常用品の点検をしようと思う

6 その他、意見等

- ・ママだけではなく主人、家族も一緒に話し合い考えることが大切だと思った
- ・今、乳児がいるが、体験談を聞き当時の自分の気持ちを思い出し、その状況で8年前だと想像しただけで泣きそうになった。いくら備えていてもその状況で自分が動けるか不安だが、我が子を守るために皆で生きていくために頑張りたい
- ・子供を近くで託児しながら防災について考えることができとても貴重な時間になった、今後は是非活かしていきたい。機会があったらまた参加したい。
- ・今後も防災についてもっと知りたい、このような会をやってほしい
- ・長岡助産部会の役立つ防災活動に感銘を受けた、女性の生活目線がとても大事！身近なできごとから始めるという気付きが大きかった
- ・このような講演会を気仙の中で企画実施していただきありがとうございました

以上